

令和5年度自己点検自己評価(令和5年4月1日～令和6年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価(平均)	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
1 教育 理 念 ・ 目 的 ・ 育 成 人 材 像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	【1-1-1】 滋慶学園グループ・福岡ECO動物海洋専門学校としての理念・目的・育成人材像はしっかりと定められている。	■滋慶学園グループのミッション 「職業人教育を通じて社会に貢献する」	4.0	・ミッションに基づいた教育理念のもと学校づくりを行っているすばらしさを感じた ・職員が変わっても学校は進化し続ける強さを感じた ・創業以来一貫とした「実学教育」をしている。採用する側としてはありがたい。 ・これから業界で求められる能力・人材輩出に受けての取り組みに力を入れていると思った ・変化が多く、変化の流れが速い時代の流れを掴んだ人材育成ができていと思う ・問題ない ・ミッション、ビジョンは変わるものではないと思うが、業界のニーズをよく理解し、定められていると思う ・世代に合わせ、写真やMAPでよりわかりやすくなっていると思った ・企業プロジェクト、企業課題をより多く取り組ませたい ・高校瀬うへの配布資料にまでしっかりした冊子を用意されておりとても明確。イラストもわかりやすい ・時代のニーズに合った専攻をつくっていることは評価できる
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか		【1-1-2】 開校以来ペット・海洋・動物業界から求められる人材を育成する産学連携教育を実施。技術やスキルなどの「実学教育」だけでなく、あいさつや対人スキル、社会人・プロの職業人としての身構え・気構え・心構えを身に付ける「人間教育」、国際的な感性を養う「国際教育」を行い業界の求める人材のニーズに適合させている。	■滋慶学園グループのヴィジョン 3つの建学の理念を実践し4つの信頼を得ること 【3つの建学の理念】 「実学教育」「人間教育」「国際教育」 【4つの信頼】 「学生・保護者からの信頼」「高等学校からの信頼」 「産業界からの信頼」「地域からの信頼」		
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか		【1-1-3】 産学連携教育の中で企業プロジェクト・企業課題を通して技術・スキルだけではなく接客や業界の求める社会人像などを知ることができる。	■学校のコンセプトと育成人材 一人ひとりを大切に！大好きな動物・自然を通して「感動」と「元気」を伝えられる人を育てる学校		
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか		【1-1-4】 変革期を迎える動物・海洋業界においては、音・光・映像を用いたテクノロジーを活用した表現方法や、売上に直結する集客に貢献できるイベント企画力・ホスピタリティ、組織運営に携わることができるマネジメント力、インバウンドで海外からの旅行者が増加する中、英語で対応できる語学力など、次世代の人材を育成するための4年制専攻を構築し、業界の更なる発展に貢献していきたいと考えている。また、愛玩動物看護師の国家資格に対応した4年制、3年制の動物看護師専攻、世界的に意識が高まっている自然環境業界に貢献できる新専攻も設置している。	■産学連携教育 業界が求める人材を業界と共に育成する産学連携教育。カリキュラムづくりから演習や実習までを業界のプロフェッショナルとともに行う。企業プロジェクト・企業課題では、企業や施設から要請をいただき、業界と共にイベント運営や調査など様々な課題に取り組み、まさに即戦力育成につながっている。		
				■教育課程編成委員会 本校では教育課程編成委員会を設置し、専攻分野に関する企業・団体との連携を通してアドバイスをいただき、授業内容の改善や工夫などを行っている。		
2 学 校 運 営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	【2-2-1】 すべての運営方針は滋慶学園グループの理念に沿って定めている。	滋慶学園グループではグループ全体で教育の質的向上を目指すため、独自の研究機関としてJESC(滋慶教育科学研究所)を設置。JESCでは教育力・運営力向上を目的とし、教職員・講師を対象に研修を実施している。「教育の質は、実践する教職員の成長により向上する。」という考えのもと、新入職者からマネジメント層に至るまで、それぞれの職務に必要なマインドの養成とスキルアップを目指している。	3.9	・人権問題等研修を積極的に推進・実施している。理念達成の為、実践することが大切だと思われる。組織的にも整っている ・グループとしての大きさを活かした運営が行われており問題ない ・とても理解しやすい説明だった ・グループ全体の沢山のデータから、AIで入学希望度、退学の可能性まで数値化するのは驚き。企業にも共有できるデータ等あれば参考にしたい ・近年の働き方改革に対応しようとしている。スタッフ一人一人の負担が減るようにしてもらいたい ・5年後を見据えた事業計画を作成し運営しているので良いと感じた ・情報システム化のもと、セキュリティの問題についても聞きたかった。また職員の負担減になったことがあればお聞きしたい ・組織内の体制がしっかりとできており、事業計画も策定できているので適切に運営ができていると思う ・一つ一つの授業に使える予算が明確化できているように感じない。専攻での予算というより、一授業において使える予算を考えた方が講師もより良い計画ができるのではないかと ・職員のスキルアップのための研修等もしっかりと計画できている ・今の時代、人本人に関する様々な話題や課題が顕在化しており学生的心・行動に響く教職員であるための研修を望む
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか		【2-3-1】 理念等を達成するために5年後を見据えた毎年の事業計画を定め、この計画に沿って教育・就職・広報・人事・収支などの運営を行っている。			
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか		【2-4-1】 本校の運営方針や収支予算・決算などは滋慶学園の理事会において承認を受け適切に運営を行っている。			
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか		【2-4-2】 事業計画の中で学校運営組織の人員構成・組織図・職務分掌を作り、役職における職責内容や職務権限を明確にしている。また滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って採用を行い、定期的にJESC(滋慶教育科学研究所)によるFD研修やグループ・学校主催の様々な人材育成のための研修を行っている。			
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか		【2-5-1】 人事・給与に関しては法人総務部と滋慶サービスで制度を確立しており、人事データバンクシステムや勤怠管理システムなどを活用しながら働き方改革にも取り組んでいる。			
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか		【2-6-1】 意思決定システムはプロセスに応じた会議・決裁者・最終決裁者を設定している。様々な目的により会議や委員会などを定期的に実施し滋慶学園グループの方針の確認・共有や企画立案、状況報告、連絡相談の場を設けている。			
			【2-7-1】 情報のシステム化については、広報では資料請求から入学までを管理する広報システム、教務では出欠管理システム・就職システムを通して学生の出欠管理やサポートアンケート状況の確認、カウンセリングの内容などの把握をし、総務・経理では勤怠管理システムや予算管理システムなどを導入し業務の効率化に努めている。			
	2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか			【情報システム】 ◎広報業務システム・・・資料請求～出願までの情報を管理できる ◎出欠管理システム・・・在校生の出欠、成績、カウンセリング内容を管理できる ◎就職システム・・・全国の求人を見ることができるシステム ◎予算管理システム・・・年度内の予算で運営できるように予算確認から執行までを確認できるシステム ◎勤怠管理システム・・・教職員が健康でいられるように シフト管理を徹底し、公休日・有給休暇の消化、残業の調整などを行う ◎人事データバンク・・・人事に関する申請を簡略化するためのシステム		

3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	【3-8-1/3-8-2】 3つの建学の理念を踏まえ、4つの信頼を得ることで即戦力となる人材を育成し社会に貢献するというミッションのもと、ディプロマポリシー（卒業認定等の方針）・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーを設定し学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしている。	【3つのポリシー】 3つの建学の理念と4つの信頼に基づき即戦力となる人材を育成し社会に貢献するというミッションのもとに、3つのポリシーを策定している。 ①ディプロマポリシー 技術・知識のみならず、ビジネスマインド、社会人としての身構え・気構え・心構え、国際的な感性をしっかりと身に付け、各専門分野や社会に貢献できる人材となる。 ②カリキュラムポリシー ディプロマポリシーを達成するために産学連携のもと3つのカリキュラム編成を成している。 「ファウンデーション・カリキュラム」 即戦力を身に付けた職業人として必要な基礎知識の習得を目指す。 「スペシャライズ・カリキュラム」 より高度な専門知識・技術の習得と、社会に貢献できる職業人として要求される身構え・気構え・心構えや国際感覚の習得を目指す。 「ダブルメジャー・カリキュラム」 他専攻の科目を選択できるカリキュラムで、幅広い知識と技術を持った職業人を目指す。 ③アドミッションポリシー 将来の夢や目標・目的を持ち、好きな仕事を通して人に喜びや感動を与えたいという気持ちを持っている人を入学者として受け入れる。 【キャリア教育】 本校では、職業教育のアプローチとして、3つに時期を捉え、入学前のキャリア形成から、在学中のキャリア設計、卒業後のキャリア開発まで学生の育成・成長にフローで関わり、一人ひとりを大切にした教育を行っている。 ①キャリア形成 入学前の時期に、オープンキャンパスやマイスクールを通して、基盤となる勤労観・職業観の形成と確立をする時期。 ②キャリア設計 在学中は、専門職業に就くプロセスの設計と能力の習得と、セルフマネジメント・チームマネジメント・プロジェクトマネジメントなどの人間力を修得する時期。 ③キャリア開発 卒業後は、卒後教育・支援等を通して、社会・職業人への移行と更なるキャリア開発をする時期。	3.8	・時代の求めるそれぞれの職業に関する能力、技術を素早く把握し、カリキュラム等に反映している。専門学校の良いを感じた ・愛玩動物看護師が国家資格化して、いち早く合格に向けた教育制度が整っている。 ・何よりも大事に取り組んでいる教育活動だと思っている。仕組みも明確になっている ・体制としては問題なく運営されていると認められる ・3-11-1について、目標とする資格、免許が明確でない学科もあるように思う ・各専攻において目指すべき資格（取得した方が良いものも含め）が明確化され授業化されている専攻と逆にそこが弱い専攻があるように感じる ・毎年ごとの教育到達レベル＋卒業時のレベル→企業や就職先が求めるレベル“以上になる”ことを是非目標にしてください ・「WeAreECO」は積極的に参加できる用よう、学生にチャレンジさせてほしい ・学生が保護者へ向けての成果を発表できる機会があることがすばらしい ・各学科の目標とする資格、免許を明確にすることは重要 ・卒業進級制作展で発表できる場が準備されているので学生はモチベーションが高くなると思う ・担任や教職員も研修で自己研鑽しており体制が整備できている
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		【3-9-1/3-9-2】 教育課程編成において、業界とともに独自の「産学連携教育システム」を構築しており、求められる即戦力となる人材を育成することを目標とし取り組んでいる。また年2回実施される教育課程編成委員会でいただいた意見を反映している。			
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか		【3-9-3】 入学前から卒業までをキャリア形成⇒キャリア設計⇒キャリア開発と3つのフローに分けキャリア教育を実施している。本校で行っている教育は、すべては社会的・職業的自立を目指し、「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。			
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか		【3-9-4】 年2回、専門課程及び高等課程の学生・生徒に授業アンケートを実施し、授業評価を行いながら学生の授業に対する満足度の把握・向上に努めている。さらに学科別に講師会を実施しアンケート結果を基に講師と担任が連携を取り、授業の改善、学生フォローを行っている。			
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか		【3-10-1】 成績評価や進級・卒業認定基準は学則、試験規程等で明確に決められており、それを学生便覧及び教育指導要領に記載して、学生、教職員、講師に周知徹底している。GPA制度（Grade Point Average）も導入している。そして、進級判定会議や卒業判定会議を通して、適切に運営されている。			
	3-9-4 授業評価を実施しているか		【3-10-2】 卒業・進級制作展（We are ECO）において学生の研究課題や企業プロジェクトの発表、作品及びコンテストにおいて習得した技術を業界の方や保護者の方々へ披露し評価いただいている。			
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか		【3-11-1】 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけられており、それを学校パンフレット、学生便覧、教育指導要領等に明記し、学生・教職員・講師に周知している。			
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか		【3-11-2】 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけられており、それを学校パンフレット、学生便覧、教育指導要領等に明記し、学生・教職員・講師に周知している。			
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか		【3-12-1】 愛玩動物看護師やJKC認定C級トリマーなどの資格取得のための授業や対策講座などを設けている。			
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか		【3-12-2】 愛玩動物看護師資格保有者の3名の担任や獣医師免許を持ち現役として活躍する講師、JKC公認トリマーライセンス教士取得やA級ライセンスを取得している講師も在籍している。			
	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか		【3-12-3】 教職員の資質向上の取り組みとして、JESC（滋慶教育科学研究所）主催のFD（ファカルティディベロップメント）研修やカウンセリング研修を行っている。学校長・副校長の監督のもと、教務部長を中心に学科長、主任及び各専攻一人以上の責任者を配置している。			
	3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか					
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか					

4 学 習 成 果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	3	【4-13-1】 就職活動への意識づけと早期対応を行い対象率は昨年度より向上した。現在も若干名の卒業生が就職活動継続しているため、継続した支援を行っていく。今後は、3年制、4年制教育に見合う大卒同等の求人の獲得や学内での企業説明会を実施回数を増やしていく。	〈就職実績〉 2023年度 卒業生数93名 就職希望者89名 就職決定者84名 就職対象者95.6%(昨年:93.1%) 就職率94.4%	3.1	・多様な学生が多い中、数値を向上していくことはとても大変であると思う。その中で就職率100%を目指して尽力していることが大変よく解った ・合格率は少なくとも全国平均より上に行ってほしい。補習などを行い、個々の能力向上に指導者を配置し行うと良い。 ・就職実績は内容がわからない所もあるが数字上は問題ないと思う。 ・説明通りだと思う。結果のみの判断にはなるが、試験や就職に至って数字として現れているのでこの評価とする ・資格取得は低下の要因が考えられており、対応を期待する ・卒業生の転職サポートを強化すべきと思う ・卒業後の状況把握の面が少し弱いように感じる ・「入学してからがスタート」であるという教育がしっかりできているのかというところに疑問が残る ・就職に関しては、来年がよいよ本番？3年間勉強して就職活動の時間も増えるはず。しっかりとサポートしてあげてください ・JKC C級ライセンス合格率に関しての課題を把握しているようなのでしっかり対策を ・愛玩動物看護師国家試験に対して、学生に自主的(強制でもいいが)に勉強会の時間を設けるなど国家試験対策の授業を多くした方が良いと思う(過去の問題を反映させる) ・4-13-1、やむを得ない事情で就職しなかった学生もいると思うが、94.4%という数字を見るととても高い数字だと思う ・4-14-1、複数の資格試験に挑む時、モチベーションの維持は課題だと思う ・4-15-1、卒業後も卒業生の状況を把握できているので「4」の評価で良いと思う ・目の前の就職率はもちろんだが、持続的な場面を想定すると資格が必要になるため、合格率が上がることを期待したい
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか					
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか					

5 学 生 支 援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	【5-16-1】 就職専門部署のキャリアセンターを設置し、担任と連携をとりながら就職の相談、求人の紹介、合同企業説明会の実施、面接指導などの支援をしている。また、学内において就職活動への意識を高めるために就職セミナーや就職出陣式、業界で活躍する卒業生を招いてのOB・OGセミナーを行っている。キャリアセンターは全国の姉妹校と連携して求人やインターンシップ情報をシェアしている。	全校学生・生徒数700名 退学者39名 退学率5.6% (2022年度:5.3%、2021年度:5.7%、2020年度:5.9%) 退学率の減少を図るため全教職員対象の研修会を12月に実施。 講師:滋慶学園COMグループ教務運営部長 伊藤先生 成果:退学率の低い学校で行われているチームサポートの方法、毎回の学科ミーティングの在り方を学んだ。 課題:担任だけではなくさまざまな部署が協力して学生をひとり一人サポートしていくチームミーティングを定期的に行う。 滋慶学園グループでは、学生満足度向上のため、様々な支援体制を整備している。 ＜主な支援機関＞ ① 滋慶トータルサポートセンター福岡 ② 医療法人慶生会 慶生会クリニック(内科・歯科) ③ 慶生鍼灸院・整骨院 ④ キャリアセンター ⑤ 滋慶学園専用寮 (スチューデントハイム・アソシエイト) ⑥ 学生食堂(滋慶レストラン) ⑦ 事務局会計課 ⑧ 進路変更委員会 ⑨ 滋慶国際交流COM ＜主な支援制度＞ ① 進路変更制度 ② 長期履修制度 ③ 学費分割納入制度 ④ 留学生奨学金制度 ⑤ 滋慶奨学金 ⑥ 担任制度 ⑦ 卒業後教育制度 ⑧ 海外専門留学 ＜その他＞ ① 各種クラブ活動 ② 駐輪場の整備 ③ free WiFi完備 ④ 学園祭・スポーツフェスタ等の学園行事の実施	3.8	・在学中から卒業後までの支援体制が整っている ・思い入れ(期待度)が高いと分母が広がり満足度が低下する。支援が様々あることを細かく説明していくことが大切 ・学生の相談窓口の設置や健康面生活面など、あらゆる方向から学生をサポートできる体制ができています ・体制としては問題なく整えられている ・進級時の退学者が減少できるように学習意欲の維持ができるような働きかけができると思う ・退学率は学生が増え、在校生数が増えれば高くなるのも仕方ないと思う。むしろ低く抑えている方ではないかと思う ・しっかりとしたサポート体制だと思う ・退学している学生の理由が知りたいと思った ・健康診断の2年次以降の受診率、再検査の受診率の向上を課題としているのが気になる。受診率の向上を図ってほしい ・2年次から3年次進級時における退学者増はやりがい(目指すべきビジョン)が学校として明確かどうかということ、またそれが学生一人一人に伝わっているのかという面が大事だと思う。各学年においてしっかりとしたレベルアップのできるカリキュラム作成が必要ではないか ・5-19-4について、より自由な大学のサークルのような活動があれば良いと思う ・2-21-1について、再就職支援の強化が必要 ・2年から3年生への進学時の対策や卒業後の再就職支援は企業として協力できることがあれば何なりと！
	5-17-1 退学率の低減が図られているか		【5-17-1】 全体の退学率が0.4%増加。今までと違い3年次に進級する時期の退学が増加。教務ミーティング、学科ミーティングによるチーム支援の成果が出てきて1年次の退学率は減少しているが、修業年限が増えたことにより、学習意欲の継続に課題を感じている。一人ひとり見ていく視点に加え、授業満足度をあげるための授業内容の見直し、また講師との連携がより重要になっていくと考えている。			
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか		【5-18-1】 学生相談窓口である滋慶トータルサポートセンターを学校から徒歩3分の場所に設置し、専属のカウンセラーが秘密厳守で学生の悩みや相談の対応をする体制を整えている。			
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか		【5-18-2】 滋慶国際交流COM(JTSC)を中心に留学生の修学状況の把握やビザなどの手続きから自国の家族へのフォローまで様々な生活面のサポートを行っている。学内に留学生対応の担当スタッフも配置。年に数回、ウェルカムパーティーなど、姉妹校合同で留学生の親睦会を実施している。積極的に友達作りができない留学生が孤立してしまわないように心掛けた。			
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか		【5-19-1】 学生支援機構の奨学金の他、滋慶学園グループ独自の滋慶奨学金、学費分納や延納などの体制を整備している。学費担当者を学内に配置し、担任との連携を図り学費で修学をあきらめることのないようにサポートした結果、学費が原因での退学者が減少。また修学支援制度の対象校であり給付型奨学金の活用もサポートしている。			
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか		【5-19-2】 慶生会クリニックと連携し、健康診断を行っている。歯科・内科の受診などを奨励し、学生の健康管理サポートは整備されている。健康診断においての課題は2年次の受診率と再検査の受診率の向上を図ることである。また、新型コロナウイルス感染防止に関する安全衛生委員会を姉妹校と立ち上げ、専門家指導のもと「新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」を作成、全学生と講師・教職員に配布、感染予防を徹底して行った。			
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか		【5-19-3】 関連企業のジケイスペース(株)が専用寮(スチューデントハイム、アソシエイト)5棟を運営。家具家電を完備、セキュリティ強化も図り安心・安全な学生生活をサポートしている。			
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか		【5-19-4】 運動部や文化部、動物系のクラブ活動があり、年間予算・顧問を設けて活動を支援している。			
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか		【5-20-1】 新入生および卒業年次生の保護者様を対象に保護者会を開催している。保護者様のご都合に合わせ、対面、オンライン、電話での保護者会を開催し、学校生活の状況や就職活動の支援方法について伝え、家庭との連携を深めている。就職活動の支援方法や業界情報を各専攻毎に資料にして郵送するなどの対策も実施。引き続きご希望に合わせた保護会を実施し連携を構築していく。また高等課程においては保護会を年3回おこなっている。			
	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか		【5-21-1】 卒業後の再就職支援を常時行っている。			
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか		【5-21-2】 同窓会やOB・OGセミナーを実施し、業界の現状を把握することに努め、業界ごとのニーズにあった再教育プログラムを提供。			
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか		【5-21-3】 業界からのニーズに合わせリカレント教育制度の導入について検討したいが、まだできていないのが現状。今後は愛玩動物看護師の国家資格取得に向けての学び直しなども検討中。			

6	教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	【6-22-1】 施設・設備は、業界の必要性に応じて整備しており、事業計画の中で毎年、改装・改修・教育機器備品購入なども計画的に実施している。 今年度はドッグトレーニングルーム、犬舎、動物飼育実習室の改装を実施。また長期修繕計画のもと、外壁や消火設備点検や補修なども行っている。	滋慶学園グループには、サポート企業・関連企業が多く存在し、グループ総力を挙げて教育環境 の整備にあたっている。 ＜サポート企業・関連企業の一例＞ ① ジケイ・スペース㈱・・・学生寮や学生食堂の運営 ② DUCE・・・校舎の改修・改装・メンテナンス、清掃、警備などの管理 ③㈱プレーンスタッフコンサルタンツ・・・業務システム、ネットワーク管理 ④ VISTA ARTS・・・ホームページ制作、コンピュータ教育、システム制作、卒業アルバム制作 ⑤滋慶出版・・・教本・教材開発等 ⑥ILC国際語学センター・・・英会話教育等 ＜その他＞ ①ガードマンの配置による安全確保 ②緊急時安否確認システムによる学生の安全確保の推進	3.9	・教育環境が計画的に整っており素晴らしい ・問題ない体制であると認められる ・先を見越した対応をしており、万が一の状況でもマニュアルに沿って対応できそうだった ・6-24-1について、講師と合同での防災訓練を行ってほしい ・若者の薬物乱用のニュースが多い。ECOの学生も他人事ではないと思う。注意徹底を宜しく願います ・学校の設備に対して満足していると娘よりあった。学生が学びやすい環境が整っていると思う ・海外研修が実施できて良かったと思う ・海外研修は行きたくてもいけない学生も多く感じる。円安の影響等で厳しいと思うが、半額補助などの対策はできないか ・海外留学の意義を知りたい ・防災マニュアルの作成・共有・訓練を繰り返し行い、改善していくことも大切だと思う
		6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか		【6-23-1】 学外実習、業界研修(インターンシップ)先とは綿密な連携をとり実施体制を整えている。 海外研修では、国際部を中心にサポート体制を作っている。2023年度はオーストラリア研修を実施した。また短期語学留学プログラムに1名参加。			
		6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか		【6-24-1】 防災計画を策定し、それに基づいて防火管理者を始めとして防災組織体制を構築している。また、年2回の避難誘導訓練を実施すると共に、ゲリラ豪雨や竜巻、地震など異常気象に備えて、学生の危機意識の確立を図って安全確保に努めている。ただし、天災は日頃からの備えが重要であり、全員での認識が重要な為、全学生及び教員(非常勤講師)合同での訓練が望ましい。今後更なる充実を図っていく。			
		6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか		【6-24-2】 ガードマンが常駐し、館内警備にあたると共に、安心安全な教育環境を学生に提供するために、福岡県警察や行政、消費生活センターなどの専門機関と連携をして、自転車安全講習、薬物乱用防止講習、悪徳商法被害防止講習、女性犯罪被害防止講習など様々な安全講習を実施している。			
7	学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	4	【7-25-1】 職業教育を実践する学校として入学前から仕事観・勤労観を持っていたために、オープンキャンパス(体験入学)やプレカレッジにてお仕事体験を実施し、ひとりひとりの目的・目標を明確にできるように自己発見のサポートを行っている。入学案内やホームページ上でもめざす職業や学びの内容を明確化できている。	＜入学選考の種類＞ 総合後型選抜(AO入学) 高等学校推薦 指定校推薦(指定校のみ実施) 一般入学(専願・併願) 社会人入学 ＜入学者選抜における配慮＞ ・願書の記載事項、面接での質問等を適正に行うための研修 ・障害のある受験者、LGBT等に配慮した選考 ＜入学者＞ 2022年度 329名 定員370名 充足率88.9% (専門課程2年制50名、3年制214名、4年制38名、高等課程27名) 2023年度 322名 定員370名 充足率87.0% (専門課程2年制72名、3年制193名、4年制30名、高等課程27名) 2024年度 285名 定員330名 充足率86.3% (専門課程2年制58名、3年制163名、4年制37名、高等課程27名)	3.8	・問題ない ・少子化の中、充足率が85%を上回る数字なので充分だと思った ・出願方法の種類も多いので多くの学生、人が受験しやすいと思う ・特にないが、学校を選ぶ際オープンキャンパスがとても重要視されていることは学生側からの意見で耳にしたことがある ・7-26-1について、学力審査も取り入れるべき ・大学進学率アップ、高卒就職率アップありながらも、もう少し定員に近づけられなかったらどうか。2025年度募集活動中だと思うが頑張ってください ・定員と入学者の差をどう考えるのか、検討が必要と思う ・入学選考基準が明確化されているのは良いが、一定の学力はほしい ・入学(目標が変わる場合もあるが)、目的意識の低下がないようにお願いしたい ・高校と連携した出前講座を増やした方が良いと思う。高校は最初に出会った学校に良さを感じ流れる傾向にある
		7-25-2 学生募集を適切かつ効果的にしているか		【7-25-2】 高等学校内での進路ガイダンスや職業理解セミナー、進学サイトやホームページ、オープンキャンパス、動物園・水族館お出かけツアーにてキャリア形成支援と入学前教育を適切かつ効果的にしている。福岡県専修学校各種学校協会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。			
		7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか		【7-26-1】 入学募集要項に入学選考基準を明確化しており、適切に運用している。入学選考は学力検査ではなく、作文と面接による将来の仕事や目標などを明確にできているか等、目的意識の確認を行っている。			
		7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか		【7-26-2】 入学選考での目的意識インタビューとプレゼンテーションシートを把握し、クラス運営の中に活かしている。			
		7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか		【7-27-1】 授業や実習内容、その他の経費に対応した学納金になっている。			
		7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか		【7-27-2】 入学辞退者の授業料等については、3月31日までに入学辞退の申し出があった場合は、入学金を除き学費等を全て返還している。しかし、4月1日以降は、最高裁の判例に基づき、海外研修積立金などの預り金以外は、返金できない。また、このことは、学生募集要項に於いて、「学費一覧」ページと「学費納入スケジュール」ページの2か所に明記している。			

8 財 務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	【8-28-1】 毎年5ヵ年の事業計画を作成し、中長期の視点で5ヵ年の収支予算を立てており、財務基盤は安定している。	当法人の財務情報公開に関しては、下記の通りとなっている。 ＜組織体制＞ 1. 法人統括責任者 2. 学校統括責任者 3. 学校事務担当者 ＜公開資料＞ 1. 財産目録 2. 貸借対照表 3. 収支計算書 4. 事業報告書 5. 監査報告書 ＜閲覧場所＞ 法人本部 本校ホームページで財務・経営情報を公開	3.9	・財務情報をホームページで公開するなど適切に管理されていることが認められる ・財務基盤が安定し、お金の流れも透明性があるので適切だと思う ・動物看護の実習に携わる者として、動物の飼育頭数上昇、それに伴う管理者、予算の増加を希望する(学生数の増加に伴う)
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか		【8-28-2】 5ヵ年計画及び単年度事業計画に基づいて、滋慶学園本部、法人本部、学校がそれぞれの立場から財務分析を行っている。			
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか		【8-29-1】 5ヵ年の予算は、中長期を見越した新学科構想、施設・設備構想、人員構想等を考慮して支出を計画し、将来の学生数等を鑑みながら収入を予測し、収支計画を作成する。			
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか		【8-29-2】 予算の執行管理は計画的に行っている。4期に分け見直しを行っており、予算と執行金額との乖離がある場合は修正予算を組む。			
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか		【8-30-1】 学園本部と法人本部の二重チェックの体制となっており、学校の財務体制をしっかりと管理し、健全な学校運営ができています。 また収入と支出のバランスは、理事会で毎年確認されている。 さらに、監査は私立学校法上義務付けられている監事監査のほか、公認会計士による監査も受けている。			
	8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか		【8-31-1】 私立学校法に基づいて、ホームページで財務情報を公開している。現在は、令和2年度財務情報を記載しているが、決算理事会終了後の7月中旬を目途に、令和3年度財務情報に更新予定。			
9 法 令 等 の 遵 守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	【9-32-1】 法令遵守については、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断し、また学校運営が適切かどうかは各組織体制でチェックできるようにしている。	＜法令順守に係る組織体制・システム＞ ◎組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ) ◎システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ) 学内にコンプライアンス委員会を設置し、厳格なコンプライアンスの遵守に努めている。委員長は、統括責任者である法人の常務理事が就任し、委員は 学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。 主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発防止対策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のための啓発活動の推進である。 監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている	4.0	・法令遵守については自信をもって「4」を付けてほしい。むしろ何が欠けているのかを公表してほしい ・法令遵守についてもしっかりと研修が行われ、委員会も設置されているので適切だと思う ・チェック体制もしっかりできている ・体制としては問題ないと認められる。ただ、体制が整っていること、コンプライアンスが遵守されていることは別でその部分はわからない ・適正な対応をしていると思う
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか		【9-33-1】 学校が保有する個人情報(資料請求者、在校生、卒業生、教職員、講師、実習先など)は個人情報保護法に基づいて、厳格に管理・保護されている。			
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか		【9-34-1】 自己評価は毎年中間評価と年度末の自己評価を実施する体制を整備し、評価を行っている。			
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか		【9-34-2】 自己評価結果は毎年ホームページにて公表している。			
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか		【9-34-3】 年に1回学校関係者評価委員会を開催し、評価・ご意見をいただいている。			
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか		【9-34-4】 学校関係者評価結果は毎年ホームページにて公表している。 (本校HP情報公開 学校関係者評価委員会)			
	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか		【9-35-1】 教育に関する情報公開はホームページやパンフレット、SNSや学校新聞などに随時掲載している。			

10 社会貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	【10-36-1】 マリンメッセ福岡B館にて小学生、中学生、高校生を対象とした職業体験フェスタを実施し約1,000名が参加。福岡県営東公園では、愛犬家マナー向上のための啓蒙活動をおこない以前より利用者が増加。	〈令和5年度の取り組み〉 ①「福岡医療センター」アニマルセラピーCAPP活動 ②「東公園」 移動動物園・ドッグラン・わん！ダフルフェスタ ③「太宰府特別支援学校」職業理解の出張授業 ④「福岡県立少年自然の家 限界の家」子どもたちへの海洋環境授業	3.9	・積極的に社会貢献に取り組んでいる ・社会貢献活動においては、福岡ECOにしかできない活動だと思う。このような活動を続けて地域に根差し、愛される学校であってほしいと思う。適切に取り組めているので「4」とする ・職業体験フェスタは今の時代だからこそそのニーズに合っており良いと思う ・啓蒙活動は差別用語に通ずる啓発とした方が良い ・問題ないが、学校が立地している地域との取り組みも点検・評価項目にあると良いのではないかと思う ・もし可能なら小学校飼育動物について何かしらの貢献をしてはどうか ・学生の成果発表の場にもなるので、今後も社会、特に地域貢献に期待したい
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか		【10-36-2】 韓国の高校から15名ほど来校し学校見学会を実施した。今後も留学生を対象としたイベントなどを行っていきたい。			
	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか		【10-37-1】 動物愛護や環境保全に関するボランティア活動を行っている。犬を対象とした愛護活動を中心としていたが、福岡市は犬殺処分ゼロになったことを受け、現在は猫を対象とした愛護活動をおこなっている。			